

平成29年3月22日

足立区立湊江中学校
学校長 本杉 貴保 様

足立区立湊江中学校 開かれた学校づくり協議会
山本 輝夫

平成28年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

平成28年度自己評価書は適正に分析し検証された。生徒・保護者の評価については「湊江中に入れてよかった、入学してよかった」・「学校が楽しい、楽しいと言っている」と満足度は高い評価が示されている。前年度の課題に果敢に取り組み、学校長のリーダーシップと副校長をはじめ教職員の連携が十分に発揮された結果である。成果を高く評価したい。

授業診断・学校生活診断において85パーセントの肯定的な評価が示された。自校の課題を明確にし、学力の定着と生徒が「一人一人が輝く、自己肯定を高める学校」に進化している。

その中でも学校の基本である「学ぶ・楽しむ」が具現化された数値は、教職員の使命感をさらに高め、生徒の指導内容・方法が学力の成果に繋がる事になる。家庭学習の実践と家庭との連携による工夫、改善が必要かと思う。基本的学力の定着によって昨年を上回る成果に期待している。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

本校の特色は運動会・文化祭・合唱コンクール（三大行事）を通じて学ぶ生徒の体験学習である。クラスメイトの信頼、同学年の連携、全校生徒が体験し連帯意識を学ぶ伝統ある行事だ。

学校行事に湊江中応援団として参加するPTA・湊江中湊和会・開かれた学校づくり協議会の役割も重要である。生徒会の活躍と学力向上に励む朝読書・朝学習、放課後補充教室・コンテスト・サマースクール・家庭学習ノートによる家庭自主学習の実践は授業改善と共に、基礎学力の定着と学力向上に成果を上げている。教職員の一体感は生徒にも浸透し、多様化する社会、目指す進路にも生きた学習として強力な自信に繋がる事だろう。

地域から誇れる「湊江中」として着実な進歩に期待し、今後も惜しみなく学校の応援に力を合わせてゆきたい。

3. その他

地域の伝統と文化は学校に通じる。地域が育む人間力は人を慈しむ寛容なところから生まれてきた。人を尊重し、人から学ぶ。湊江中の生徒は今、各学年の役割を認識し、上級生は下級生を、下級生は上級生を尊重し高め合う。先人に感謝する文化が存在する湊江中である。